

# 平成16年度地域科学技術振興関係 政府予算について

## 文部科学省事業

(単位:百万円)

事 項	平成15年度 予算額(A)	平成16年度 概算要求額(B)	平成16年度 政府予算(C)	増減額 = (C)-(A)
地域科学技術の振興	10,559	14,445	12,873	2,314 (+21.9%)
1. 知的創造による地域産学官連携強化プログラム				
知的クラスター創成事業  〔自治体の主体性を重視し、知的創造の拠点たる大学、公的研究機関等を核とし、関連研究機関、研究開発型企業等による国際的な競争力のある技術革新のための集積(知的クラスター)の創成を目指す。 5年間、1地域あたり5億円程度/年、15地域 18地域〕	6,900	9,000	9,000	2,100
都市エリア産学官連携促進事業  〔地域の個性発揮を重視し、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業等の創出、研究開発型の地域産業の育成等を目指す。 3年間、1地域あたり1億円程度/年、28地域 34~35地域程度〕	3,100	4,900	3,400	300
2. 地域先導科学技術基盤施設の整備の推進  〔地方公共団体が行う、地域の特性やポテンシャルを活用した先導的研究に資する基盤施設の整備事業に対して支援を行う。〕	500	450	400	100
3. その他	59	95	73	14

## 独立行政法人科学技術振興機構事業

(単位:百万円)

事 項	平成15年度 予算額(A)	
地域結集型共同研究事業  〔都道府県や政令指定都市において、国が定めた重点研究領域の中から、地域が目指す特定の研究開発目標に向け、研究ポテンシャルを有する地域の大学、国公立試験研究機関、研究開発型企業等が結集して共同研究を行うことにより、新技術・新産業の創出に資することを目指す。(地域COEの形成を期待)〕	5,311	平成16年度予算については、独立行政法人の運営費交付金の内数
地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業  〔大学等の研究成果を積極的に発掘し、その成果を活用するため、科学技術コーディネータからなる専門家チームを結成し、研究成果の育成等を図る。(新規採択終了、平成17年度事業終了予定。)]	614	
研究成果活用プラザにおける技術移転の推進等  〔研究成果活用プラザ(全国8か所)において、地域における新産業の創出に資するコーディネート活動、技術開発活動、ベンチャー支援活動を展開し、技術移転を強力に推進する。〕	3,281	